

議事要旨（２） IFRS 財団会計基準アドバイザー・フォーラム設置提案へのコメント対応について

小賀坂主席研究員から、12月11日に「アジェンダ・コンサルテーションに関する協議会」（財務会計基準機構及び金融庁を事務局とし、企業会計基準委員会、日本経済団体連合会、日本公認会計士協会、日本証券アナリスト協会、東京証券取引所、経済産業省、法務省をメンバーとする。）が開催され、IFRS 財団による会計基準アドバイザー・フォーラム設置の提案への対応について、関係者との意見交換が行われた旨の説明がされた。引き続き、当委員会のコメント案が説明された。

説明の後の審議では、あるオブザーバーから、コメント案は全体としてフォーラム設置提案に前向きなトーンと感じられ、第 6.4 項のコミットメントの文言に対しては必要な意見が盛り込まれており、賛同する、との発言があった。また、仮に当初、ASBJ がフォーラムに参加できるとしても、その後メンバーの見直しが予定されているので、ASBJ が参加を継続するためにはフォーラムでの貢献が重要である旨の発言があった。

上記の審議の結果、コメント案が了承された。

以上